

看護闘争ニュース

<発行>
東京地方医療労働組合連合会
看護闘争委員会
メール：mail@tokyo-iroren.net
Tel/ 03-3872-7191
Fax/ 03-3876-3173

看護師たちよ 立ち上がれ！！

春闘討論集会を終えて 職場は今

患者さんの超高齢化、認知症の増加、独居・キーパーソンなしetc...そして退院支援という名の患者追い出し。記録はどんどん増えていく...同意書・説明書・チェックリスト...チェックリストのチェックリストも。仕事の量と求められる責任・質はここ数年で各段に増えた。しかし、それに見合う看護師増はない。休日にも職場に出向き「私のプライベートはズタボロです」と若手が発言。多忙な中で中堅が育たない、辞めていく...派遣になるのか？看研なし・人事評価なし・過大な責任なし、給料そこそこという派遣の魅力...。この現実から抜け出したい気分を退職・転職・派遣で実現するのか、それとも現実を変える戦いをするのか。

—春闘が現実を変える—

給料・休み・夜勤はいつだって看護師の要求だ。春闘なんだから給料上げて看護師増やそう！夜勤を減らして休みを取ろう！そうしないと看護師は集まらない。春闘は現実を変える戦いだ。

東京通信労組 續

大学部会経営者要請行動より ワークとライフはバランス保っている？

2014年10月看護師の夜勤実態調査を行った結果、平均回数は2交替夜勤でも押しなべて平均5回から6回/月ですが分布化していくと1回から少ないと8回以上という回答が出ました。ワークライフバランスにより看護師たちの多様な働き方による結果だと考えます。

—見せかけの夜勤回数—

36協定を遵守できているということですが、実は一人ひとりの夜勤回数を見るとはるかに超えていること。『見せかけの夜勤回数』に私達看護師が日々翻弄されている状況です。経営者要請行動では、この話をすると人事部たちはうなずくだけでノーコメントです。中には、看護必要度が高そうな大学病院でも3人夜勤の病棟が多くある大学がありました。夜間連続して2時間以上の休憩が取れているのか疑問です。

—看護師たちと対話が必要—

この様な状況の中改善を求めるには当事者である看護師たちが声をあげることせめて増員署名にサインをしてもらうことがやはり大切なことだと痛感します。

日医大労組 清水